大阪市立美術館　コレクション展

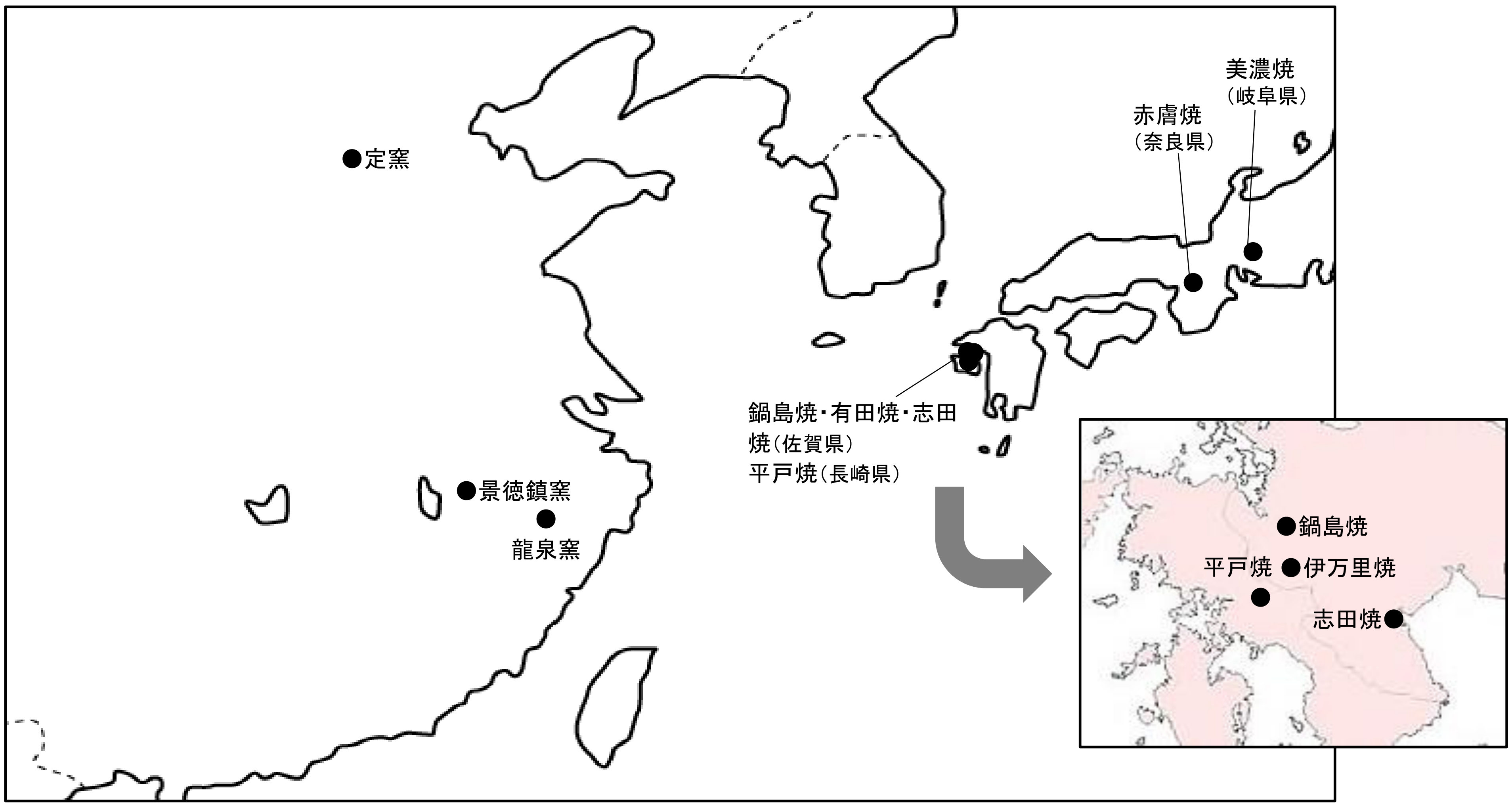
涼風颯々―夏のやきもの―

出品リスト　　　　会期：2018年7月6日（金）～7月18日（水），7月31日（火）～9月1日（土）

No.	作品名	生産地		員数	時代	所蔵
	<第17展示室>　涼しい色・形のやきもの					
1	緑釉 円壺		中国	1口	唐時代　8世紀	本館蔵　田万コレクション
2	白磁 円壺		中国	1口	唐時代　8世紀	本館蔵　田万コレクション
3	淡緑釉 壺		中国	1口	唐時代　8世紀	個人蔵
4	藍彩 壺		中国	1口	唐時代　8世紀	個人蔵
5	藍釉 壺		中国	1口	唐時代　8世紀	個人蔵
6	白磁 牡丹唐草龍文鉢	定窯	中国	1口	北宋時代　11世紀	本館蔵
7	青白磁 唐子唐草文鉢	景徳鎮窯	中国	1口	北宋時代　11－12世紀	本館蔵
8	青白磁 輪花形皿	景徳鎮窯	中国	1枚	北宋時代　11世紀	個人蔵
9	青白磁 唐草文皿	景徳鎮窯	中国	1枚	北宋時代　11世紀	本館蔵　原晃氏寄贈
10	青白磁 唐草文水注	景徳鎮窯	中国	1口	北宋時代　12世紀	個人蔵
11	青白磁 蓮唐草文瓶	景徳鎮窯	中国	1口	南宋時代　13世紀	個人蔵
12	青磁 花卉文双耳瓶	龍泉窯	中国	1口	北宋時代　10－12世紀	個人蔵
13	白磁 龍耳瓶		中国	1口	唐時代　7－8世紀	個人蔵
14	青磁 蓮唐草文瓶		朝鮮半島	1口	高麗時代　12世紀	個人蔵
15	青磁 竹節文瓶		朝鮮半島	1口	高麗時代　12世紀	個人蔵
16	青磁象嵌 柳鶴文浄瓶		朝鮮半島	1口	高麗時代　13世紀	個人蔵
17	青磁 牡丹文鉢		朝鮮半島	1口	高麗時代　12世紀	本館蔵　井関健夫氏寄贈
18	青磁 蓮弁文鉢		朝鮮半島	1口	高麗時代　12世紀	本館蔵　田万コレクション
19	瑠璃釉 木葉文瓢形瓶		朝鮮半島	1口	朝鮮時代　19世紀	個人蔵
20	白磁 瓶		朝鮮半島	1口	朝鮮時代　19世紀	個人蔵
21	白磁 砲弾形水滴		朝鮮半島	1箇	朝鮮時代　18－19世紀	個人蔵
22	白磁 円形水滴		朝鮮半島	1箇	朝鮮時代　18－19世紀	個人蔵
	<第16展示室>　涼しいデザインのやきもの					
23	染付 団扇文皿	伊万里焼	日本	1枚	江戸時代　17世紀	本館蔵　岩田久子氏寄贈
24	染付 団扇文皿	伊万里焼	日本	1枚	江戸時代　17－18世紀	本館蔵　岩田久子氏寄贈
25	染付 山水図扇形皿	伊万里焼	日本	1枚	江戸時代　17世紀	個人蔵
26	染付 団扇形皿	伊万里焼	日本	3枚 （5枚のうち）	江戸時代　19世紀	個人蔵
27	染付 龍宝珠文六角皿	伊万里焼	日本	1枚	江戸時代　17世紀	個人蔵
28	染付 蜂龍文高足杯	十一代 永楽保全 （1795－1854）	日本	1口	江戸時代　19世紀	本館蔵　田万コレクション
29	青花 龍文方壺　「大明嘉靖年製」銘	景徳鎮窯	中国	1口	明時代 嘉靖期(1522-66)	個人蔵
30	青花 双龍文洗　「大明萬暦年製」銘	景徳鎮窯	中国	1口	明時代 万暦期(1573-1620)	個人蔵
31	青花 龍文瓶　「大明萬暦年製」銘	景徳鎮窯	中国	1口	明時代 万暦期(1573-1620)	個人蔵
32	青花 梅花氷裂文壺　「道光年製」銘	景徳鎮窯	中国	1口	清時代　19世紀	本館蔵　原晃氏寄贈
33	青花 梅花氷裂文盆	景徳鎮窯	中国	1口	清時代　18世紀	個人蔵
34	染付 氷裂雪輪文皿	伊万里焼	日本	5枚	江戸時代　18世紀	本館蔵　岩田久子氏寄贈
35	白磁 雪輪形三足皿	伊万里焼	日本	5枚	江戸時代　17世紀	個人蔵
36	染付 雪景山水図皿	鍋島焼	日本	1枚	江戸時代　18世紀	本館蔵　田原コレクション
37	染付 貝形蓋物	伊万里焼	日本	1合	江戸時代　17－18世紀	本館蔵　岩田久子氏寄贈
38	青花 海老文合子	徳化窯 テクシン・カーゴ引揚品	中国	1合	清時代　19世紀	個人蔵
39	青花 蟹文皿	景徳鎮窯	中国	1枚	明時代　17世紀	個人蔵
40	染付 海老文皿	志田焼	日本	5枚	江戸－明治時代　19世紀	個人蔵
41	志野 海老波濤図額皿	美濃焼	日本	1枚	桃山時代　16世紀	個人蔵
42	瑠璃銹釉 貝形蓋物	平戸焼	日本	1口	江戸－明治時代　19世紀	本館蔵　ｳﾝｹﾞﾙﾝ ｼｭﾃﾙﾝﾌﾞﾙｸﾞ氏寄贈
43	青磁 栄螺形蓋置	平戸焼	日本	1個	江戸時代　19世紀	個人蔵
44	白磁 蟹形容器	福建系諸窯 コンダオ・カーゴ引揚品	中国	2口	清時代　17世紀	本館蔵　なにわの海の時空館移管品
45	青花 網干形香合（古染付）	景徳鎮窯	中国	1合	明時代　17世紀	本館蔵　田万コレクション
46	赤釉 海老置物	赤膚焼	日本	1箇	江戸時代　19世紀	個人蔵
47	青花 網目文四方皿（古染付）	景徳鎮窯	中国	3枚 （5枚のうち）	明時代　17世紀	個人蔵
48	青花 魚藻文洗　「大明嘉靖年製」銘	景徳鎮窯	中国	1枚	明時代 嘉靖期(1522-66)	個人蔵
49	染付 金魚文船形皿	鍋島焼	日本	1枚	江戸時代　18－19世紀	本館蔵　田原コレクション
50	白磁青花 魚文八角水滴		朝鮮半島	1口	朝鮮時代　18世紀	個人蔵
51	豆彩 蓮池鴛鴦図鉢　「大清道光年製」銘	景徳鎮窯	中国	1口	清時代 道光期(1821-50)	本館蔵　原晃氏寄贈
52	青花 蓮鷺文盤	景徳鎮窯	中国	1枚	清時代　19世紀	本館蔵　山口コレクション
53	染付 尾長鳥文皿	鍋島焼	日本	1枚	江戸時代　17世紀	本館蔵　田原コレクション
54	染付 鷺文皿	伊万里焼	日本	1枚	江戸時代　17世紀	本館蔵　岩田久子氏寄贈
55	青花 蓮池文瓶	景徳鎮窯	中国	1口	元時代　14世紀	本館蔵

＜参考資料＞

■関連地図



■関連略年表

600　700　800　900　1000　1100　1200　1300　1400　1500　1600　1700　1800

中国	隋	唐	五代・十国	遼／北宋	金／南宋	元	明	清
朝鮮半島	高句麗／百済／新羅	統一新羅	（後三国）	高麗	朝鮮			
日本	飛鳥 白鳳	奈良	平安	鎌倉	室町	安土桃山	江戸	

■キャプションの見方

展示の番号。
作品リストの番号とも一致しています。

作品名。
やきものの多くは、工房で作られた「製品」であるため、作者による作品名をもちません。
そのため、「技法＋文様＋形」を作品名称とする習慣があります。

この作品の場合、
「青花」が技法名。日本のやきものの場合「染付」と呼ばれる技法と同じで、釉薬をかける前に、コバルトを使った顔料で下絵付けをする方法です。
「龍文」は文様名。文様名は、基本的に「～～文」と表記します。龍の文様なので龍文と呼びます。
「瓶」はうつわの形。口の小さな細長い壺を「瓶」といいます。

31　　（例）
青花（せいか）　龍文瓶（りゅうもんへい）　「大明萬曆年製」銘
景徳鎮窯
中国
明時代　万暦期（1573－1620）
個人蔵

作品に記された文字のことを「銘」または「銘款」といいます。（文字が文様の一部となっている場合はのぞきます）。

作者名や窯名（＝工房名）、注文主、商標、吉祥句を記したもののほか、年号款もあります。

「」の中は、作品に記されたとおりの字体で表記しています。

この作品の場合、明時代万暦期に作られた作品であることを示しています。
さらに、このような年号款は宮廷用のうつわにしか記すことが許されていなかったため、官窯で製作された作品であることも分かります。

上から順番に
生産された窯ややきものの種類
生産地（現在の地域名称）
生産年代
をあらわしています。

所蔵もと。「～～蔵」と表記します。

大阪市立美術館で所蔵している作品の場合は「本館蔵」としています。
寄贈を受けた作品の場合は、寄贈者の氏名を併記しています。また個人の多くの収集品に由来する場合は、「～～コレクション」と記しています。
そのほか、当館でお預かりしている作品（寄託品）などは、「個人蔵」などそれぞれの所蔵もとを記しています。